



平成 16 年 6 月 8 日  
日本原子力発電株式会社

## 敦賀発電所 1 号機の原子炉自動停止について (調査状況)

当社、敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉：定格電気出力 35 万 7 千 kW）は、定格熱出力一定運転中のところ、本日 11 時 04 分、タービン加減弁の急速閉により、「負荷遮断」の警報が発報し、原子炉が自動停止しました。

(平成 16 年 6 月 8 日 12 時プレス発表済)

停止前のプラントの状況を確認したところ、

- ・プラントの運転パラメータに特に異常は認められないこと。
- ・送電系統に異常がないこと。
- ・昨日（6 月 7 日）に行った「タービンバイパス弁作動試験」（1 回／週）において、タービン加減弁およびタービンバイパス弁が正常に動作しなかったことから、当該弁の作動機構に注油を行った後、本日再度、作動試験を実施していたこと。

などを確認しています。

今後、詳細な原因調査を実施します。

なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありません。

また、非常用炉心冷却系（ECCS）の作動はありません。

(注) タービンバイパス弁作動試験

ロードリミッタ（負荷制限装置）を操作することにより、タービン加減弁の開度をわずかに絞り、タービンバイパス弁が開動作することを確認する試験。

以 上

添付図：主蒸気系概略系統図

# 主蒸気系概略系統図

